令和 5 年度事業 事後評価・決算 **事務事業マネジメントシート**

令和 6 年 6 月 3 日作成

事務事業名	中学校施設整備事業	所属部	教育委員会	所属課	教育総務課
総合計画体系 政策名	〈Ⅳ〉ふるさとを学び育つまち≪教育・文化≫	所属G	教育総務・給食G	課長名	金森 里志
施策名	〈26〉学校教育の充実	担当者名	杉原 学	電話番号	0854-40-1071
目的 対象	児童・生徒	意図	基礎基本（知・徳・体）の発達を促し、生き抜く力を身につける。	（内線）	2271
基本事業	〈079〉学校の施設・設備の充実	予算科目	会計 款 大事業 0150	大事業名	中学校施設整備事業・中学校総務管理事業
目的 対象	児童・生徒	意図	学習しやすい環境で学ぶ。	項 目 中事業 1505	中事業名 中学校施設整備事業・中学校施設小規模修繕事業

1 現状把握【DO】

(1)事務事業の概要

① 対象（誰、何を対象にしているのか）	② 意図（対象がどのような状態になるのか）
生徒、市内中学校施設（7校）	学校施設設備の適切な修繕改修等整備により、子どもたちが快適な学習環境で学ぶことができる。

③ 事業内容（期間限定複数年度事業は全体像を記述）

事業期間
- □単年度のみ
- ■単年度繰返（ H16 年度～ ）
- □期間限定複数年度（ 年度～ 年度 ）

前年度に実施する中学校施設設備の修繕等要望ヒアリングを基に、当年度実施計画を立案し、修繕・改修工事に取り組んでる。
また、計画外の緊急を要する修繕等についても、優先順位を付けながら適宜実施している。

④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績（R5年度に行った主な活動）	（この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか？）
【主要な修繕・改修工事】 ・掛合中学校：灯油配管更新工事、相撲場改修工事 ・三刀屋中学校：武道場屋根改修工事 ・大東中学校：自動火災報知設備更新工事 ・三刀屋中学校：放送設備（体育館）修繕工事 他、施設修繕 91件	限られた予算を有効に活用するため、全中学校への修繕等要望ヒアリング結果から必要性の高い修繕箇所から優先順位を付け、効果的な事業実施に努めている。

(2)事務事業の指標

	成果指標	単位	R3年度（実績）	R4年度（実績）	R5年度（実績）	R6年度（計画）
ア	修繕件数（小規模修繕含む）	件	91	91	91	90
イ	工事件数	件	2	4	5	3
ウ						
エ						

(3)事務事業のコスト

① 事業費の内訳（R5年度決算）

[中学校施設整備事業]
需用費（修繕費）4,565千円
工事請負費 27,579千円
※地方債：合併特例債
[中学校施設小規模修繕事業]
需用費（修繕費） 7,871千円

計 40,015千円

② コストの推移		単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
財源内訳	国庫支出金	千円		34,460		
	県支出金	千円				
	地方債	千円	2,700	400	26,200	6,600
	その他	千円				3,000
	一般財源	千円	16,229	13,640	13,815	2,553
事業費計		千円	18,929	48,500	40,015	12,153

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	実施計画を基に建設部と連携しながら、適時適切に修繕・改修工事を実施しており、児童・生徒の学習環境及び生活環境の整備改善に取り組むことができた。 また、緊急を要する修繕等についても、優先順位を付けながら、適時対応することができた。
② 事業実施するうえでの課題	学校施設は年々老朽化が進んでおり、適切な修繕・改修により改善を図る必要がある。限られた予算のなかで最大限の成果が得られるよう、優先順位を付けながら修繕・改修工事に取り組んでおり、本事業は適切に執行されている。
③ 課題解決に向けた改革改善等	雲南市学校施設整備保全計画（R3.3月策定）に基づく着実な施設改修を実施していくため、各学校における具体的な施設改修計画を作成する必要がある。